



令和6年10月30日
中能登町学校給食センター

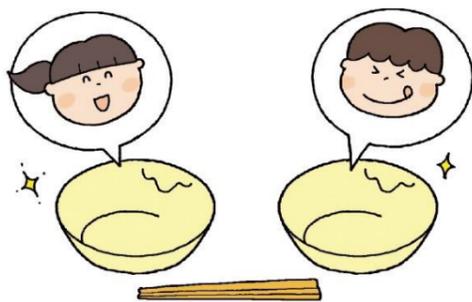
11月23日は「勤労感謝の日」です。この日はもともと「新嘗祭」といって、農作物の収穫に感謝する行事が各地で行われた日でした。私たちの生活を支えるため、社会の様々な場所で毎日一生懸命働く人たちがいます。そのことを改めて考え、感謝の気持ちを持ち、その気持ちをぜひ伝えてほしいと思います。収穫された農作物と働く人々への感謝の気持ちを忘れず、毎日の食事も大切にしましょう。

学校給食は 多くの人がかかわっています



学校給食は栄養士が献立を考えて、調理員さんが給食をつくりまします。また、使われる食材は農家さんや漁師さん、畜産農家さんなどの生産者が育てたりとったりしたものを運送業者さんが運びます。このように多くの人のおかげで、学校給食はみなさんのもとに届けられているのです。

感謝を込めて残さず食べよう！

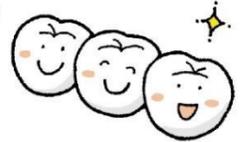


わたしたちの食事は、多くの人がかかわって支えられ、命をいただくことで成り立っています。残すのは命を粗末にすることです。残さずに食べましょう。

その言葉がうれしい



11月8日は「いい歯の日」です♪ 健康な歯を目指そう



くらべてみよう 動物の歯・ヒトの歯

<p>トラ</p>		<p>ウマ</p>	
<p>鋭く大きなきばで獲物をとらえて、とがった歯で肉を引きちぎります。</p>		<p>かたい草を、広く平らなきゆう歯ですりつぶします。</p>	
<p>ヒト</p>		<p>トラなどの肉食動物には鋭くとがった歯が、ウマなどの草食動物には大きなきゆう歯があります。そして肉も野菜も食べるヒトの歯はどちらの機能も備えています。このように食べるものによって歯の形はかわるのです。</p>	



11月18日はおにぎりの日

旧鹿西町の「杉谷チャノバタケ遺跡」から、日本最古のおにぎりが見つかったことで、中能登町では11月18日をおにぎりの日として親しんできました。6月にもおにぎりの日がありますが、遺跡からおにぎりが見つかったのは11月だそうです。この日は、ぜひおうちでもおにぎりを作ってみてください！

11月24日は和食の日

日本には豊かな自然があり、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。そして一汁三菜を基本とした栄養バランスのよい食事である自然の美しさや季節を表現し、年中行事とも深くかかわっています。この日は、和食や日本人の伝統的な食文化について考えてみましょう。

